

スタートしました

上野労働基準監督署第13次労働災害防止計画



～Safe Work TOKYO～ トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心

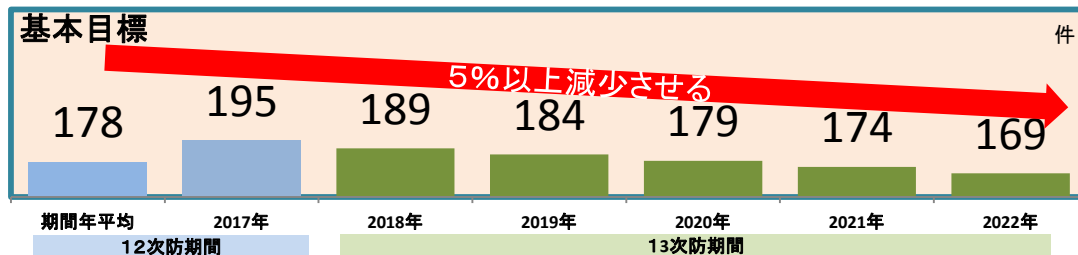
上野労働基準監督署管内における死傷災害の発生状況をみると、第三次産業での発生が7割以上あり、そのうち、小売業及び飲食店での災害が4割以上を占めています。また、近年、ビルメンテナンス業で増加傾向にあります。

上野労働基準監督署では、東京労働局が策定した「第13次東京労働局労働災害防止計画 ～Safe Work TOKYO～ トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心」の計画に基づき、2018年を初年度として5年間にわたり各種労働災害防止のための取組を行うにあたり、管内での労働災害発生状況を鑑みて達成すべき目標を定め、労働災害の更なる減少を図ります。 * 死傷災害・死亡災害及び休業4日以上 の休業災害

基本目標

- 死亡災害 0件
- 死傷災害 2022年までに169件以下に減少させる。

12次防期間中の死傷災害発生件数889件の単年平均178件から5%以上減とし、最終年である2022年においては169件以下に減少させる。

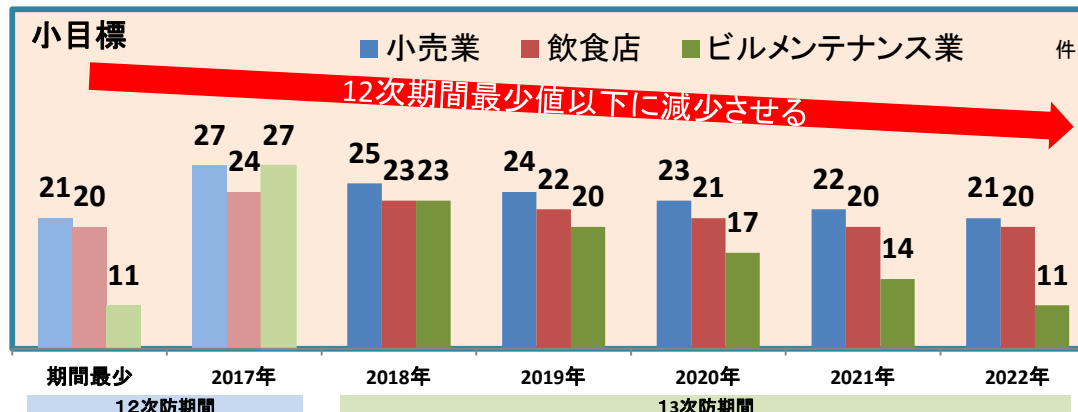


小目標

管内の労働災害発生状況を鑑みて、発生割合の高い小売業及び飲食店、増加が著しいビルメンテナンス業を重点的業種とし、小目標を設定します。

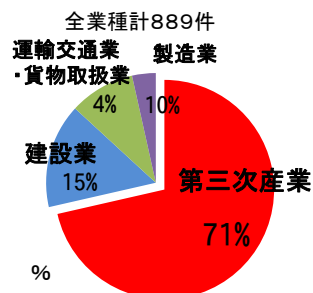
- 小売業 2022年までに死傷災害を21件以下に減少させる。
- 飲食店 2022年までに死傷災害を20件以下に減少させる。
- ビルメンテナンス業 2022年までに死傷災害を11件以下に減少させる。

各業種とも12次防期間中における単年の最少件数以下に減少させる。
小売業は21件(H28)飲食店は20件(H26)ビルメンテナンス業は11件(H26)



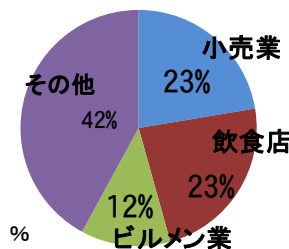
労働災害発生状況

12次防期間中における(2013～2017)業種別災害発生件数



| 業種 | 件数 |
|------------|-----|
| 第三次産業 | 635 |
| 建設業 | 137 |
| 運輸交通・貨物取扱業 | 86 |
| 製造業 | 31 |

12次防期間中における第3次産業の業種別災害発生件数



| 業種 | 件数 |
|-----------|-----|
| 小売業 | 142 |
| 飲食店 | 148 |
| ビルメンテナンス業 | 78 |
| その他の業種 | 267 |

清掃業における死傷災害発生件数の推移

